

各学年の10月までの行事を終えて～担当教員より～

1 学年イングリッシュ・キャンプを終えて

1 学年担当 中 村 大 樹

8月2日(水)～4日(金)イングリッシュ・キャンプを実施しました。希望者での参加にはなりましたが、ベルデ岩井にて英語講師が一人ずつそれぞれの行動班を担当し、生徒の皆さんも身振り手振りしながら英語でコミュニケーションやアクティビティを楽しんでいました。残念ながら強風のため、キャンプファイアはできませんでしたが、1日目の夜は、実行委員が主体となってレクリエーションを運営することができました。また、2日目の夜には各行動班で練習したダンスを披露し、参加した全員で盛り上がることができました。最終日には、それぞれの講師の国の文化を英語で紹介しました。

中学生で初めての宿泊行事ということで、楽しくできたことが多くありました。その一方、課題も多く見つかりました。気を付けようと言っていた忘れ物をしてしまったり、集合してから静かになるまでに時間がかかってしまったり、その場での善悪の正しい判断でなかったりなどです。一人一人が少し我慢し、譲り合い、声掛けを行うことで、全体は滞りなく進むことができます。この経験を学校生活や今後の行事に生かしてくれることを期待しています。

2 学年 職場体験を終えて

2 学年担当 今 村 吾 朗

9月13日(水)～15日(金)の3日間、職場体験学習を実施しました。練馬区内に限らず、新宿区や東久留米市、武蔵野市など都内71の事業所にご協力いただき、体験学習を行うことができました。

本年度、本校では自己実現に向け、主体的に生き方を考え、進路選択・決定ができる生徒を育てることを目標に進路指導を行っています。それを受けて、2学年の総合的な学習の時間では、「自分を伸ばす学年にする」をテーマに、学習を計画してきました。職場体験で、どのように自分を伸ばすことができるのでしょうか。そのためには、これまでとは違った視点から職業を見てみたり、実際に働いたり、働く人に話を聞きながら考えを深めたりして、仕事を色々な視点から見つめさせることが必要だと考えます。このような経験を積んで自分を豊かにしてほしいと思っています。

1学期は、近畿日本ツーリストの社員さんを講師に、働くことの意味について講演いただきました。生徒は、事前に質問を提出することで主体的に話を聞きながら、自らの将来について考えを深めました。働くことはお金を稼ぐだけではなく、自分を豊かにする手段の1つだと気付くことができました。

2学期は、職場体験に向けて職場を調べ、事前訪問に向けて電話をしました。普段、友達と何気なく話すのではないことや、話し方、約束の仕方なども、一社会人としての姿勢を学びました。また、実際に働くことで、これまで漠然としていた「働く」ということが現実のものとなり、お金をもらい働くとはどのようなことか、人のために役に立つとはどういうことか、考えることができました。また、働くことのやりがいや責任感も感じ取ることができました。来年度も多くの事業所のご協力を得ながら、自分を豊かにできる経験を積ませていきたいと思います。ご協力いただいた事業所に感謝申し上げます。

3 学年 修学旅行を終えて

3 学年担当 大 野 雄 生

「生徒主体」を重点に取り組む本校の方針の下、これまで1、2年時に実施した校外学習の経験から生徒に考えさせる事前指導を行いました。生徒は班長を中心に各自の係の役割、責任を果たそうという姿勢が感じられ、班内で協力してコース決定ができました。

実際の修学旅行3日間では、見学する中での行程変更が各班であったものの、適切な判断と教員への報告というこれまでの経験を確実に生かしている場面が多くあり、成長を感じることができました。また、添乗員の方々やお世話になるホテルの方、カメラマンさんの方々にも挨拶や感謝の気持ちをしっかりと伝える様子がみられました。当たり前のことではありますが、徹底できるこの学年の良さを改めて実感できました。

実施前週、帰京後に学年閉鎖を経験するという異例な面もありましたが、学びを修めるにふさわしい修学旅行であったと感じています。卒業までの残りの半年間、生徒たちが互いを受け入れ、協力し合いながら成長してくれることを期待しています。